

群馬県大学図書館協議会

会報

第13号

発行 2005年2月28日

編集 群馬県大学図書館協議会

「会報」編集委員会

前橋市荒牧町4-2

(群馬大学附属図書館内)

☎ 027-220-7169

平成16年度大学図書館研究会

共催 群馬県図書館協会

テーマ「情報リテラシーを考える」

平成16年度大学図書館研究会が、群馬県図書館協会との共催により、9月8日(水)放送大学群馬学習センターで開催され、群馬県大学図書館協議会加盟館17館から23名が参加しました。

研究会は、当協議会の中里洋一会長と会場館の放送大学群馬学習センター中島事務長の開会の挨拶の後、昨年に引き続き講師を引き受けさせていただいた仁上幸治氏(早稲田大学図書館)の講演が行われました。

講演は「パスファインダー超簡単制作法—日常業務の中で作るための7つのステップ」という題目で、最初に図書館員が置かれている厳しい状況と専門性への疑念についての話があり、その後、指導サービスや広報のツールとしてのパスファインダーの説明と詳しい作成方法についての説明がありました。

講演後、休憩をはさみ、講演や事前アンケートの結果を踏まえ、講師や会長も参加して自由討議が行われ、参加者からは各館で抱えている問題などの報告があり、そうした問題に関連して、講師と参加者の意見交換も活発に行われました。研究会終了後、講師を交えての懇親会があり、くつろいだ雰囲気の中で日頃会う機会が少ない加盟館同士でいろいろな話をすることができました。

今回の会報は、大学図書館研究会を中心にお届けします。

参加者からの声

仁上幸治氏の講演

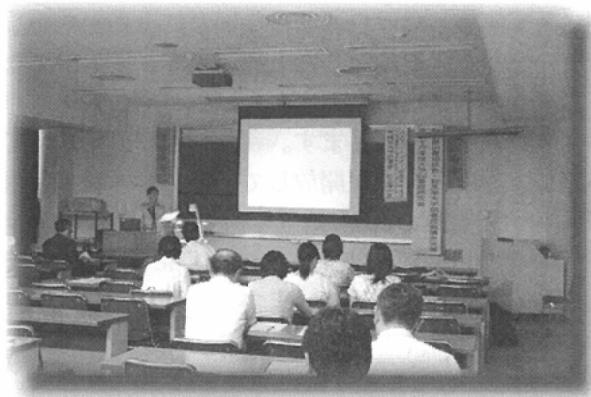
—パスファインダー超簡単作成法について—

高崎経済大学附属図書館
深町 光男

仁上氏は早稲田大学図書館司書として20年以上勤務し、図書館広報や情報リテラシー指導などの研究をするとともに、ビデオ「図書館の達人」「新・図書館の達人」の企画・監修や、法政大学司書教諭課程の非常勤講師などもしている。

今回の講演では、大学図書館の問題点として、江戸川大学において、図書館業務の『全面委託』が行われた新聞記事の話から始まった。図書館職員の欠点や、取り巻く状況の厳しさから、図書館職員が専門性の訴求や、図書館教育・レファレンス技術の向上を図る必要があること。パスファインダーの作成はその有効な方法のひとつであることである。

パスファインダーは水先案内人とも訳される。利用



者が必要な情報・資料まで辿り着くまでの手軽な道案内であり、また図書館員にとって、レファレンスでも活用できる重要な指導用ツールである。

具体的な作成方法までここでは説明できないが、ホームページを作ったことの無い人でも簡単に作れ、Web上で試作版として公開し、さらに使い易いものに内容を深めることができます。

群馬県大学図書館パスファインダーリンク集づくりの動きがあり、作成に挑戦してもらいたい。

仁上氏の「パスファインダーバンク」については <http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/> でご覧いただけます。

大学図書館研究会に参加して

群馬県立医療短期大学図書館
井上 譲

平成16年9月8日(水)、放送大学を会場に早稲田大学図書館の仁上幸治先生を招いて、「パスファインダー超簡単作成法」—日常業務の中で作るための7つのステップーという演題で講演会が開催された。仁上先生は、この大学図書館研究会では、昨年もご講義くださって「勉強家であるな。」「プロフェッショナルであるな。」ととても好印象であったので今年度も楽しみにして参加させて頂いた。会場で要項をみると講演内容が「パスファインダー」であることを知り、その少し前から興味を持っていたこともあり、嬉しい!と自分一人で興奮してしまった。情報リテラシーに関しては、それぞれの図書館で工夫をしながら実施していると思うが、やはり図書館でちょっとこと実施するのではなくて、正課授業の中できちんと実施することが大切ではないかと思う。学生があまり図書館を利用しないと悩んでいる図書館職員もいますが、大学生活の中でどう図書館を利用していかをきちんとリテラシーした上で、学生がちょっと時間があるときに入ってみたくなるような図書館づくりを心掛けるべきではないでしょうか。図書館ツアーもきちんとポイントを押さえて実施しなければならないと仁上先生もおしゃっていました。その通りだと思います。逆効果になってしまいがちもありますからね。本学も来年4月から4年制大学と移行します。利用もますます増えてくるでしょうけど、県民開放していて、学外者の利用も多い本学図書館の課題は、「学外者への情報リテラシー」かなと思っています。とても身になる講義で、仁上先生に心から感謝しています。

パスファインダーとの出会い

群馬パース学園短期大学図書館
三村 沙矢香

今回の仁上講師の講演で1番得をしたのは私かもしません。そう豪語できるほど、講演の内容もタイミングも最高のものでした。

私はパスファインダーとの出会いは今から2年前。看護雑誌の、図書室運営に関する記事の中でした。試作してみたのですが、出来は今ひとつ。理由は自館の蔵書もインターネット情報資源もよく知らなかったからでした。そして保留状態に。

しかし、図書館ホームページを立ち上げることとなり、その中で情報検索などのマニュアル集の作成が必要となりました。パスファインダーに再び挑戦する気になったところに今回の研究会が開催されたのです。

仁上講師の講演は、パスファインダーは誰でも簡単に作ることができるということをテーマにすすめられました。わかりやすく、言葉の用い方・デザインなど具体的な作成方法まで説明がありました。更にパスファインダーにするテーマの選び方の助言まで頂きとても参考になりました。日々作らざるを得ない状況ではあったのですが、かなりやる気にさせられたのは言うまでもありません。

もちろん問題はあります。最初に挫折する原因となつた「知識不足」も完全に解消できたとは言えません。その上、4年制大学設置準備にも追われています。しかし、以前どこかの研修会で聞いた「自分が受けた研修内容を利用者にフィードバックしなければならない」という言葉を胸に、何が何でも4月までにはパスファインダーを作成しホームページに掲載します。掲載の折には、協議会の皆様のご指導をよろしくお願い致します。



大学図書館研究会に参加して

高崎健康福祉大学図書館短期大学部分館
下田 詩織

今回の大学図書館研究会でほぼ初めて耳にしたと言ってよいパスファインダーという言葉に困惑したものの、仁上氏のご講演を聞き理解を深めることができました。

リーフレット状のものも作ったことがない私にとってWebページを作成することは基本的なレイアウトもわからないといった状態でした。作成の手順からトピックスを扱うこと、といったパスファインダーの内容や、パスファインダーバンクを参考に作成し、試作版として自館のホームページ上にのせ徐々に改良をしていけば良いことなど、私のような初心者でも作成できるよう丁寧に教えて頂きました。

パスファインダー作成法に入る前にお話頂いた図書館職員委託を含めた現在の大学図書館の現状や職員の社会的イメージでは、図書館員の専門性を図書館側から働きかける重要さを実感しました。授業との連携を図ることや、図書館として広報活動を行うことなど働きかける機会は様々です。今回のパスファインダーも利用者が自分で目的のものへとたどり着けるようにする為の利用者教育の一つでもあると同時に司書として未熟な私にとっては作成することで専門性を高めるものもあり、また図書館をアピールする一つの手段だと考えています。

「りてらしい司書」のサバイバル戦略

群馬工業高等専門学校図書館
堀口 純夫

専門性のデフレスパイラル——講演はこんな話題から始まりました。図書館業務を企業に全面委託した大学の事例が挙げられ、「職員の定期異動で育成にくかった専門的な人材が、低コストで確保できた」、「企業の豊富な専門知識に基づく、きめ細かいサービスが提供できるようになった」、「開館時間の延長が抵抗無く実現できた」など、絶大な効果が上がっていることが紹介されました。こうした時流の中で、現職司書は存亡の危機に直面しているというのです。残された手段は、情報の専門家として社会的認知を受けることであり、研修会もサバイバル戦略の一環であると言われて、冒頭から身の引き締まる思いがしました。

パスファインダーは、ある特定のトピックに関する情報収集のナビゲーターで、ウェブページの形で公開されます。参照した利用者が興味を持った情報にたどり着けるだけでなく、その過程で様々なアプローチの

方法を学べるという利用教育の効果も期待できそうです。また、使い易さを追求すれば、図書館の親切さも形としてアピールできるのではないでしょか。これならば、司書の持つノウハウやスキルを、利用者に直接、無駄なく利用してもらえるような気がしました。

この講演は、一貫して職業人としての意識改革を問う内容だった気がしました。量に偏向したサービス拡張で疲弊させられる前に、サービスの質の向上に的を絞って方針転換しなければ生き残れない、という焦燥感・危機感を感じました。「たのもしい、めざましい、すばらしい、りてらしい司書」への道は、想像以上に険しいと思いました。

大学図書館研究会に参加して

群馬大学附属図書館医学分館
宇敷 智美

今回のテーマである「情報リテラシー教育を考える」は、平成14年の4月から医学分館の情報サービス係に配属され、情報リテラシー教育に携わってきた私にとって、とても身近なテーマであり、とても勉強になりました。

仁上先生による「パスファインダー超簡単作成法」の講演では、図書館員の専門性崩壊を切り抜ける手段の一つとして、パスファインダーが紹介されました。パスファインダーについては、その言葉を聞いたことがあるという程度で、実際に使ってみたり、作ってみたりしたことがなかったので、とても興味深く聞くことができました。

7つのステップで簡単にパスファインダーを作成する方法を教えていただき、実際に各図書館が作成したパスファインダーを収集し、Web上で提供している「パスファインダー・バンク」を紹介していただき、自分でも作ってみよう！と思いました。しかし、日々の業務に追われて、未だ実現していません。

図書館のカウンターに座っていると、同じことをよく聞かれるな、こういうものがあったら簡単に教えることができるのにと思うことがあります。これらを解決する手段の一つとして、パスファインダーを活用していきたいと思います。



平成16年度大学図書館研究会 (2004.9.8)
情報リテラシーに関するアンケート結果 (1/3)

No.	図書館名	1-1 図書館オフィンを実施していますか?	1-2 館内フローを実施していますか?	1-3 どのようないかで、図書館主催の講習会の対象はありますか?	1-4 大学の授業の中で図書館利用に関する講習会を実施しているですか?	2 知識については、どちらがおりませんか?	3 広報や情報リテラシーに関連して、日々の研究活動(9/26)において、何がありますか?	4 今回のデーターに間に合わず、他館についてどこがおりませんか?	5 次回、「平成17年度」取り上げてほしください。
1	育英短期大学図書館	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
2	關斯特大学松平記念図書館	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
3	關斯特大学松平記念図書館	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
4	桜生短期大学図書館	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
5	共栄学園前橋国際大学図書館	はい	—	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
6	群馬県立医療短期大学図書館	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
7	群馬県立女子大学附属図書館	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	特になし	特になし	特になし
8	群馬工業高等専門学校図書館	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	特に無し	特に無し	特に無し

平成16年度大学図書館研究会（2004.9.8）
情報リテラシーに関するアンケート結果（2／3）

No.	図書館名	1-1. 図書館オーリエンテーションを実施していると思いますか？	1-2. 延べ3回以上は、館内ツアーを実施していると思いますか？	1-3. 勉強の講義会議会議室をどのように活用されていますか？	1-4. 勉強や情報リラクゼーションに問題を感じていますか？	2. 今回のテーマに関する限り、特に問題を感じていません。	3. 広報や情報リラクゼーションに問題を感じていますか？	4. 今回のテーマに問題を感じますか？	5. 電子書籍や電子資源を実際に利用して貰った感想を教えてください。
9	群馬社会福祉大学図書館	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	あるからも、もちろん、日々資料があるからも、それを読むのが好きだといふ。でも、どうかわからない。どちらかでいい。どちらかでいい。どちらかでいい。
10	群馬県立短期大学図書館	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
11	群馬大学附属図書館 本館	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	4. 今回のテーマに問題を感じますか？
12	群馬ハース学園短期大学図書館	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
13	上武大学附属図書館	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
14	高崎経済大学附属図書館	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
15	新潟学園大学図書館	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
16	高崎技術専門学校図書館	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	はい

平成16年度大学図書館研究会（2004.9.8）
情報リテラシーに関するアンケート結果（3／3）

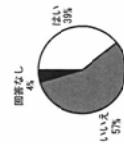
No.	図書館名	1-1 館内ツリー・アーチョン実施していますか？	1-2 図書館オリンピック実施していますか？	1-3 図書館の講習会を実施していますか？	1-3-1 どのような講習会を実施していますか？	1-3-2 大学の授業の中で図書館利用に開設する講習会を実施していますか？	1-4 講習会の対象はどなたが対象ですか？	2-1 今回のテーマに興味わらず、日々に興味持ったままに読書を楽しむ人ですか？	2-2 今回のテーマに興味持ったままに読書を楽しむ人ですか？	3-1 広報や情報リテラシーに関する講習会を実施していますか？	3-2 広報や情報リテラシーに関する講習会を実施していますか？	4-1 今回のテーマに興味持ったままに読書を楽しむ人ですか？	4-2 今回のテーマに興味持ったままに読書を楽しむ人ですか？	5-1 次回（平成17年度）取り上げてほしいテーマがありますか？	5-2 次回（平成17年度）取り上げてほしいテーマがありますか？
17	高崎商科大学図書館	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
18	東京福祉大学附属图书馆次郎記念図書館	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
19	東洋大学附属図書館教養分館	はい	はい	はい	DP検索 (Web of Science) 著者による講習会	教員	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
20	新島学園女子短期大学附属図書館	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
21	放送大学群馬学習センター図書室	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
22	前橋工科大学附属図書館	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
23	明和町短期大学図書館	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

平成16年度大学図書館研究会（2004.9.8）
情報リテラシーに関するアンケート（図書館）結果グラフ

図書館オリエンテーションを実施していますか？



4. 今回のテーマに興味わらず、日々に興味持ったままに読書を楽しむ人ですか？



5. 次回（平成17年度）取り上げてほしいテーマがありますか？



1-6
図書館主催の講習会を実施していますか？

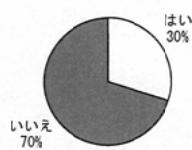


1-7
大学の授業の中で図書館利用に関する講習会を実施していますか？



**平成16年度大学図書館研究会（2004.9.8）
情報リテラシーに関するアンケート（参加者）結果グラフ**

Q1
昨年（平成15年度）の大学図書館研究会へ参加しましたか？



Q2
レファレンス業務の経験はありますか？



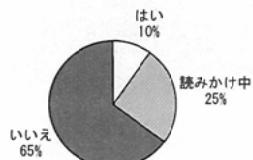
Q3
図書館主催講習会での指導経験はありますか？



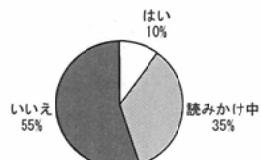
Q4
大学の授業での図書館利用に関する指導経験はありますか？



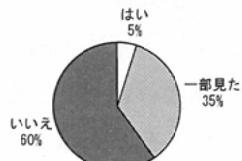
Q5
『図書館広報実践ハンドブック』を読みましたか？



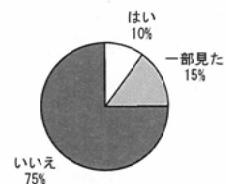
Q6
『図書館利用教育ハンドブック（大学図書館版）』を読みましたか？



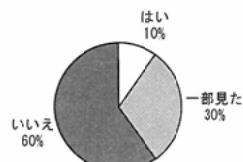
Q7
『図書館の達人』（ビデオ全6巻）を見ましたか？



Q8
『図書館の達人（司書実務編）』（ビデオ全6巻）を見ましたか？



Q9
『新・図書館の達人』（ビデオ全6巻）を見ましたか？



第2回群馬県図書館大会について

平成16年11月1日（月）群馬県立図書館等を会場に第2回群馬県図書館大会が374名の参加者を集め開催されました。大会行事の他、作家横山秀夫氏の記念講演や3つのテーマ別分科会が行われました。

第1分科会では「県内図書館の連携～利用者満足度の向上をめざして～」をテーマに県内公共図書館・大学図書館・学校図書館から60名が参加して館種を越えた連携について活発な意見交換が行われました。事例発表では高崎健康福祉大学の橋本副館長から「群馬県大学図書館協議会の活動と今後の課題」というタイトルで当協議会の10周年の歴史・概要・今後についての話がありました。

第2分科会のテーマは「豊かな子ども読書活動の展開～小中学校図書館と公共図書館の連携を探る～」で、4つの事例報告とグループ討議が行われました。学校図書館、公共図書館双方の立場からの発表があり、今後の連携が期待されます。

第3分科会は「住民参加の図書館づくり～語ろう！われら図書館応援団～」をテーマにパネルディスカッションとフロアトークが行われました。「図書館のいま」、「図書館のこれから」、「住民参加の図書館活動は可能か」など、利用者と図書館職員との間で熱心な討論が行われました。



群馬県大学図書館協議会会員名簿

育英短期大学図書館

関東学園大学松平記念図書館

関東短期大学松平記念図書館

共愛学園前橋国際大学図書館

桐生短期大学図書館

群馬県立医療短期大学図書館

群馬県立女子大学附属図書館

群馬工業高等専門学校図書館

群馬社会福祉大学図書館

群馬松嶺福祉短期大学図書館

群馬大学附属図書館

群馬大学附属図書館医学分館

群馬大学附属図書館工学部分館

群馬バース学園短期大学図書館

上武大学附属図書館

上武大学附属図書館分館

創造学園大学図書館創造芸術学部

創造学園大学八千代キャンパス図書館

高崎経済大学附属図書館

高崎健康福祉大学図書館

高崎健康福祉大学図書館短期大学部分館

高崎商科大学図書館

東京福祉大学附属茶屋四郎次郎記念図書館

東洋大学附属図書館板倉分館

新島学園短期大学図書館

放送大学群馬学習センター図書室

前橋工科大学附属図書館

明和学園短期大学図書館

編集後記

会報13号をお届けします。会員のみなさまから原稿をお寄せいただき、ありがとうございました。次号もみなさまの原稿をお待ちしています。

編集委員 関口 富江（明和学園短期大学）瀧澤 憲也（群馬大学）富所 文弘（群馬県立女子大学）